

## 事業概要書

事業名	ハマナス再生プロジェクト「根浜ハマナスプロジェクト」				
開始日	2021年4月1日	終了日	2022年5月31日	日数	395日
団体名	根浜ハマナスプロジェクト実行委員会				
(カウンターパート)	ロクシタン、ロクシタンジャパン、岩手県立大学、環境パートナーシップいわて、海浜林再生プロジェクト、釜石市立釜石東中学校				
担当者名	細江	スタッフ人数	12人		

事業費総額 (税込)	7,315,950円
CF事業枠	7,061,450円
その他資金	254,000円

事業目的	<p>本地域に自生し釜石の象徴花でもある「ハマナス」を増殖させる活動を行い、根浜海岸の景観及び生態系を再生させ、地域の貴重な観光資源を地域をあげて振興することによって、あらゆる生物が生きいきと命を輝かせる希望の地を目指す。また必要なエネルギーを地域資源から生み出す検討を行うなど、より深く「自然と共に生きる、根浜らしい持続可能な地域づくり」を住民主体となり官民学とともに思考し、長期計画の1年目として実行する。</p>
事業全体の概要	<p><b>【実施組織概要】</b>          根浜ハマナスプロジェクト実行委員会とは、根浜地域でハマナスを再生する取組を通して「自然と共に生きる、根浜らしい持続可能な地域づくり」に貢献するために組織された実行委員会であり、震災後釜石復興のために様々な活動を行ってきた3団体によって構成されている。</p> <p><b>■根浜ハマナスプロジェクト実行委員会 構成組織について</b>          主要な構成組織は以下の通りである。</p> <p>① <b>株式会社かまいしDMC</b>          釜石観光振興ビジョンの実現に向け、2018年4月、(株)かまいしDMC「釜石オープン・フィールド・ミュージアム」が設立された。          釜石の地域DMO（地域観光法人）として、地域外からの観光客や繋がり人口の増加と、地域商社として釜石の特産品を域外で販売していくことをミッ</p>

ションとした事業を展開し、2018年に再建された根浜海岸観光施設「根浜シーサイド」の運営を担う。同施設では環境への配慮と地域連携を図り、オートキャンプ場と芝生グラウンドを利用できるだけでなく、海アクティビティの体験提供も行っている。

## ② 一般社団法人根浜MIND

2016年に根浜地域の住民を中心に設立。釜石市の交流人口の増加を目指し、地域の活性化と持続可能な地域づくりに向けた活動を推進すると共に、人々の集う場、関係する人々のネットワークづくりを進めることで、人材育成を図り、未来に向けて希望のある地域社会を作り出していくことを目的とし活動を行っている。

## ③ 三陸ひとつなぎ自然学校

東日本大震災直後の2011年3月から、釜石市鶴住居川流域を拠点に被災地支援活動を開始。緊急支援として、地域外の支援団体と地域をつなぐボランティアコーディネート、あそび場を失った子どもたちの居場所づくり、避難所の物資配達・炊き出し、避難所や在宅避難地域の方の憩いの場づくり、ボランティアと観光を組み合わせたボランティアツーリズムなどの活動を展開。震災から約1年後の2012年4月1日、任意団体「三陸ひとつなぎ自然学校」を設立（2013年5月に一般社団法人化）し、現在は「地域のために立ち上がり、挑戦する人が多いまち」の実現を目指して活動を展開している。2021年にシビックフォースとのパートナー協働事業を実施した。

## ●取り組むべき課題

震災により根浜海岸全体が大きな被害を受け、自生していたハマナスやハマボウフウといった多くの海浜植物が流出するなど、生態系にも影響が出た。しかし地域住民は、この自生するハマナスが再生し地域を賑わせてくれることを願い、自生している個体から種を取り、挿し木をするなどしてその個体の増殖を自主的に行ってきた。震災10年を迎え、ようやく日常を取り戻した同地域の持続可能性を考えたときに、このような自生する海浜植物を増やしていくことは、地域の活力につながるだけでなく、自然の恵みを受けて暮らしが成り立つ同地域においてなくてはならない要素であり、取り組むべき課題（SDGs 目標11/住み続けられるまちづくりを）であると考えている。そのため、地域住民も参画しながら、釜石の大切な観光資源でもある根浜海岸をどんな場所にしていきたいのかを一緒に考えることは非常に重要である。

また、震災で失われた景観を取り戻す時に注意すべきは、生態系を壊さないことである。そのため、時間がかかったとしても、自生している個体から種を取って挿し木をするなどして苗を作り、個体数を増やす方法を選択した（SDGs目標15/陸の豊かさも守ろう）。これらの作業を進めるにあたっては専門家からの助言は不可欠であり、今後安定的に個体数を増やしていくための土壌改良や、苗を育てるために必要な水源の確保もしなければならないなど、取り組むべき課題は多くある。

そしてこの活動は1年で成果が出るものではなく、長い時間をかけて取り組んでいくべき課題であると考えている。本事業は長期計画の1年目として実施し、これから長く取り組んでいくための下地作りという位置づけとする。

## ●パートナー協働プログラム対象事業

### I. ハマナス再生プロジェクト「根浜ハマナスプロジェクト」事業

広大な天然芝の広場やレストハウスを備えた「根浜シーサイド」を拠点とし、根浜地域に自生するハマナスの個体を増殖する。またその過程において、豊かな自然と対峙した持続可能な地域づくりを試行する。

[期間] 2021年5月～2022年4月

[内容] ①～④のフェーズを設け活動をすすめる。

#### ① グラウンドデザイン期

- ・ 5月1日 種まきの実施

[内容] 地域住民及び地域の中学生とともに座学を通してハマナスの植生について学び、苗つくりのための種を蒔く。

[協力] 海浜林再生プロジェクト 他

- ・ 6月5日 ランドスケープデザインワークショップ開催

[内容] 地域住民や地域の中学生とともに、地域を探索しながら植栽する場所をはじめとするランドスケープを完成させる。複数回開催する。

[協力] 海浜林再生プロジェクト 他

- ・ 7月17日 海岸清掃の実施

[内容] 地域住民や地域の中学生とともに根浜海岸の清掃活動を行う。

[協力] 釜石東中学校 海浜林再生プロジェクト 他

#### ② 愛着の造成期

- ・ 3月 ハマナスDAYキャンプ

※ハマナス関連プログラム、土壌改良ワークショップ  
他

対象：子ども、地域住民

[内容] 地域の小学生以上を対象としたハマナスをはじめ地域に自生する海浜植物や、地域の持続可能性について体感するキャンプを行う。

[協力] 岩手県立大学、環境パートナーシップいわて 他

#### ③ 実行期

- ・ 3月 井戸掘り

[内容] ランドスケープにて決めた場所に井戸を掘る。

- ・ 3月 畑の土壌改良

[内容] 根浜シーサイド内の畑の土壌改良作業を行う。

[協力] 根浜親交会 他

#### ④ 植樹祭の開催

- ・ 4月 植樹祭開催

[内容] 地域内外から参加者を募り、本地域で育てた苗及び採集した種を植える。

- ・ 苗の植樹セレモニー
- ・ 種のプランター栽培
- ・ ハマナス体験ワークショップ
- ・ マルシェ 等

[場所] 根浜シーサイド (岩手県釜石市鶴住居町21-23-1)

URL : <https://nebama-seaside.jp/>

[参加者数] 述べ100名 (予定)

### [協力組織]

以下の組織とともに活動を推進する。

- 1) 根浜親交会 (地域住民による町内会)
- 2) 根浜海岸林再生実行委員会 (根浜海岸の復旧活動を実行)
- 3) 株式会社かまいしDMC (根浜シーサイド指定管理者)
- 4) 釜石東中学校 (地元中学校)
- 5) 一般社団法人根浜MIND (地域住民による組織)
- 6) 岩手県立大学 (ハマナスの植樹等について指導)
- 7) 環境パートナーシップ岩手 (環境に関する助言、専門家紹介)

### ●期待される効果

- ・ 震災後に流されずに残ったハマナスから苗を作り植樹することで、生態系を脅かさない形で、ハマナスの再生ができる (SDGs目標15/陸の豊かさも守ろう)
- ・ 震災で流出した海浜植物が再生されることによる地域住民の幸福度向上
- ・ 地域住民も参画し、根浜海岸の未来の姿を思い描き、実現に向けて一緒に活動をするで、地域住民の愛着も深まり、共にまちづくりを行うという意識が醸成できる (SDGs目標11/住み続けられるまちづくりを)
- ・ 地域の重要な観光資源である根浜海岸の景観を守る
- ・ 豊かな自然を生かした地域づくりのノウハウの習得及び深化
- ・ 震災で流出したハマナス以外の海浜植物の再生に向けたノウハウの習得
- ・ 個体数が増えれば、収穫したハマナスの実をジャムなどの加工品の開発・販売も可能となる。加工品を製造・販売することで雇用が生まれれば、地域の中で新たな経済の循環を生むことができる。また、障がいを持つ方の就業体験の場としても活用が可能となる。(SDGs目標8/働きがいも経済成長も)

事業内容(事業種別 (コンポーネント) ごと)	裨益者 (誰が、何人)
コンポーネント①グラウンドデザイン期 1) 種まき 2) ランドスケープワークショップの開催 3) 海岸の清掃活動	地域の子ども、地域住民 述べ約100名

<p>コンポーネント②愛着の造成期</p> <p>1) イベントの実施 (デイキャンプ)</p>	<p>地域の子ども、地域住民 述べ約100名</p>
<p>コンポーネント③実行期</p> <p>1) 井戸掘り (土地所有者への交渉等)</p> <p>2) 土壌改良</p>	<p>地域の子ども、地域住民 述べ約100名</p>
<p>コンポーネント④植樹祭の実施</p> <p>・ 植樹祭の開催</p>	<p>地域の子ども、地域住民 他 述べ約100名</p>